

報道機関各位

2022年6月17日

もりおか SDGs ファンド 11 件目の投資実行のお知らせ

テクノロジーで人と医療の架け橋になる

株式会社東北医工

FVC Tohoku 株式会社が盛岡信用金庫等と 2021 年 1 月に組成した「もりおか SDGs 投資事業有限責任組合」は、上記 1 社に投資を実行したことをお知らせします。

<投資先企業の概要>

株式会社東北医工

代 表 者： 代表取締役 大関 一陽

本 社： 岩手県盛岡市北飯岡 2 丁目 4 番 23 号

事 業 内 容： 医療用及び福祉用機械器具の企画、開発、製造及び販売など

※本件は岩手新事業創造ファンド 2 号との協調投資



■同社の特長

国内の脳血管疾患患者数は 2017 年時点で 111.5 万人である一方、リハビリテーションや治療にあたる作業療法士や理学療法士の数は約 10 万人に留まっています。脳卒中リハビリテーションは、急性期、回復期、慢性期のいずれのステージでも有効とされていますが、対象患者数に対して療法士の数不足しており、治療や回復の機会を十分享受できない「治療機会の損失」が課題となっています。

同社は関連会社である株式会社ピーアンドエーテクノロジーズ（盛岡市）で培ったロボティクス技術を活用し、岩手大学をはじめとする、各大学の研究機関との産学連携を推進しながら、作業療法士らによる徒手的なリハビリテーションの一部を代替する、脳卒中リハビリロボットの共同開発に取り組んでいます。開発中のリハビリ機器は、医療現場における作業療法士らの負担軽減、ひいては患者の治療機会を創出し、人と医療の架け橋になります。

▼脳卒中リハビリテーションロボット 製品イメージ



▼左から FVC Tohoku、東北医工 いわぎん事業創造キャピタルの代表者



<ファンドの概要>

名称： もりおか SDGs 投資事業有限責任組合
設立日： 2021年1月15日
出資者： 盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町、FVC Tohoku 株式会社
投資実績： 本件投資実行により合計 11 社

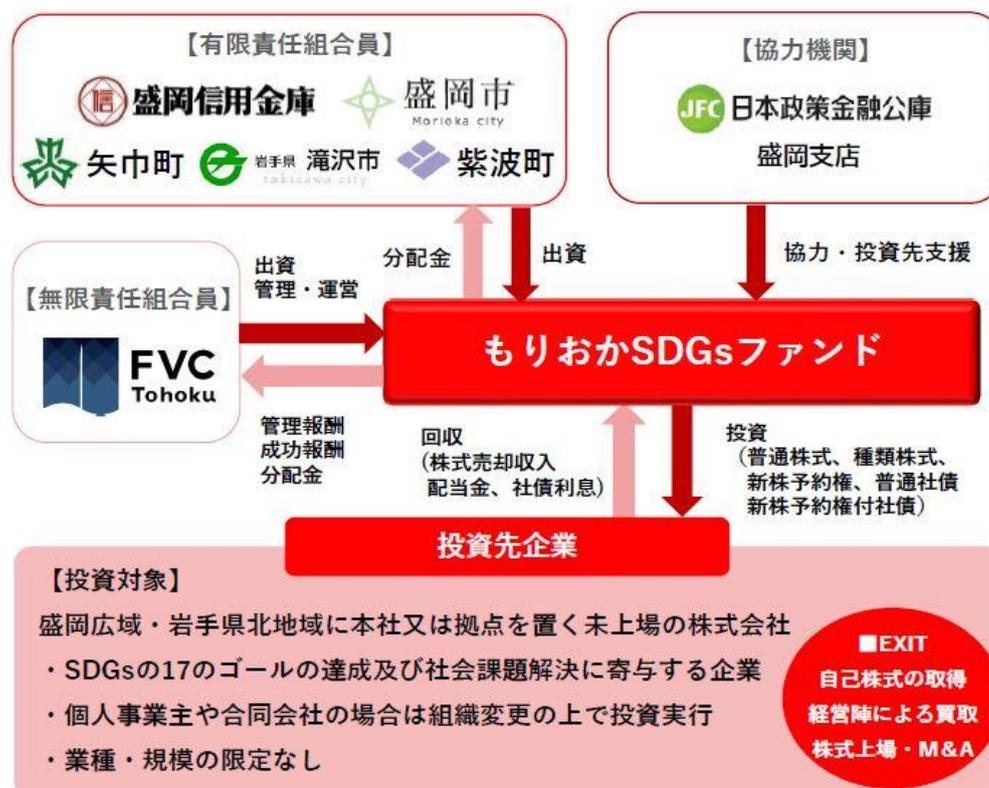
■投資対象

- ・SDGs(持続可能な開発目標)の17のゴールの達成及び社会課題解決に寄与する株式会社
- ・盛岡広域、岩手県北地域本社または拠点を置く企業
- ・業種、業歴、規模は問いません。
- ・資金用途の制約もありませんので、人件費や開発費等幅広い活用が可能です。
- ・株式上場は前提としておりませんが、上場を想定している場合は、ご相談ください。

■こんな方におすすめ

- ・自社の経営資源を活用してSDGsや社会課題解決に寄与する新規事業を始めたい
- ・アイデアや経験はあるが、新規事業開発のための資金が必要
- ・事業を行っていく上で不安があり、第三者のアドバイスを受けながら事業を進めたい

■スキーム図



《本件に関するお問い合わせ》

FVC Tohoku 株式会社 担当：柿澤

〒020-0022 岩手県盛岡市大通3丁目6番12号開運橋センタービル3階

TEL：019-606-3558 MAIL：info@fvctohoku.co.jp

▼HPはこちら

